

令和7年度第1回日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会 議事録

日 時	令和7年10月29日(水) 午前10時から11時50分まで
場 所	日進市役所4階第1会議室
出 席 者	佐野 治(委員長)、藤井 勉、吉井 竜良、鈴木 智恵子、鈴木 国弘、稲垣 幸子、寺田 裕美、櫻井 かおり、中島 五郎、椎葉 梢、牛田 由美子、村野 政章
欠 席 者	小池 由成
事 務 局	祖父江 直文(福祉部長)、高見 紀子(福祉部次長兼地域福祉課長) 村瀬 立子(地域福祉課福祉相談室長)、川合 陸仁(地域福祉課主幹)、櫻木 順子(地域福祉課主任主査)、小倉 懸自(地域福祉課主査)、上野 慎也(地域福祉課主任)、川本 賀津三(日進市社会福祉協議会事務局長兼地域福祉課課長) 天野 典幸(日進市社会福祉協議会包括支援課長兼包括支援係長) 福田 有輝(日進市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係長)
傍聴の可否	可
傍聴の有無	有(1名)
次 第	1 あいさつ 2 議題 第2期にっしん幸せまちづくりプランの進捗について 3 報告 日進市自殺対策計画の進捗について 4 その他
配 布 資 料	・次第 ・委員名簿および事務局名簿 資料1 第2期にっしん幸せまちづくりプラン進捗管理シート 資料2-1 令和7年度重層的支援体制整備事業実施計画について 資料2-2 日進市重層的支援体制整備事業実施計画 資料3 日進市自殺対策計画進捗管理シート

発 言 者	内 容
	1 委員長あいさつ
	2 議題
委 員 長	それでは、議題に入りたいと思います。「第2期にっしん幸せまちづくりプランの進捗について」、事務局から説明をお願いします。
事 務 局 (市・社協)	(資料1、2-1、2-2について説明)
委 員 長	説明内容について、何か御質問、御意見等がございましたら、発言をお願いします。
委 員	住民主体による介護予防・生活支援サービス事業補助金について、岩崎台ではゴミ出しや病院への送迎を行う訪問型サービスと移動支援の

発 言 者	内 容
	<p>活動に対して補助を受けています。移動支援の活動に対して反響があり、他自治体で活動を発表する機会があったほか、全国紙の新聞から取材を受けて記事が掲載されました。公共交通施策が各種ありますが、支援網から漏れる人への支援をどのように行い、安心して生活を送れるようにするための方法を岩崎台では考えて活動を進めてきました。活動を始めて4年になりますが、今では年間で100人程度の利用者がいますが、少しずつ支援の輪を広げていきたいと考えています。周りに関心を持っていただくことは活動のやりがいになっています。</p>
委 員	<p>支援を必要としている人を見つけるのが難しく、地縁のつながりが弱いこともあり大人だけでなく、子供も同様の状況にある印象を持っています。先日、福祉実践教室を受講しましたが、非常に意義のある内容だと感じました。そのうえで、福祉実践教室のなかにまちの守り人養成講座の内容を盛り込むことで、福祉を身近に感じることができるのではないかと思います。また、新聞配達や配食業者など、個別で家庭に業務で関係を持っている事業者や地域で行われているつどいの場で講座を開催するのも有効ではないかと思いました。</p>
委 員	<p>傾聴ボランティアを行っており、所属する会の活動としてN-c a f e（認知症カフェ）を開催しています。個人的にも地域で行われているN-c a f eにも参加していますが、活動をする中で参加者のニーズに対応しきれていないと感じることがあります。傾聴の能力は人柄やセンスだけではなく、経験やテクニックに依拠するところが多々あるのではないかと感じています。そのため、広くボランティア養成を行っていくことは様々な人材が出てくる契機となるので必要なことだと思います。</p> <p>そして、質問になりますが、アウトリーチの内容を教えてください。</p>
委 員	<p>まちづくり協議会で活動をしていますが、課題は人材不足です。月1回の回覧板で周知をしていますが、地域における横のつながりが希薄で人材発掘に至っていません。人材不足の原因を個人的に考えてみましたが、現在は核家族化が進み、異なる世代の方と触れ合う機会がなく、高齢者の困りごとを知らないことではないかと思っています。まちの守り人養成講座や福祉実践教室では、人材育成の機会創出になっていると思います。また、行政でも移動支援のボランティアドライバーやサポーターの募集の周知に引き続き取り組んでいただきたいと思います。</p>
委 員	<p>にぎわい交流館では、約290団体程度の団体登録があり、多岐にわたる市民活動を展開されています。福祉や子供、趣味を生かして地域に発表することで生きがいをしている団体もいます。でも、重層的支援体制整備事業の整備目的に少し似てる状況として、それぞれの団体が網の目のように重なり合って、活動が行われておらず、いわば縦割</p>

発 言 者	内 容
	<p>りのように各活動が行われている状況です。にぎわい交流館は令和7年11月に20周年を迎えますが、その間登録を続けて活動を続けている団体がたくさんありますが、団体同士が知り合う機会を提供しきれませんでした。団体交流会を行っていますが、20周年を機に新たな取組を始める予定です。12月から4回、フォローアップも含めて地域円卓会議というイベント名で、企画段階ですが若者の困りごとについて話をしてもらう予定で進めています。</p> <p>進捗管理シートを見て、年間800人以上がまちの守り人養成講座を受講しており、大半が子供の受講者で、子供のときから自分は擁護される立場だけではなくて、地域で支援を必要とする人を見つけ、支援先につなげる役割も担うことを理解してくれていると良いなと聞いておりました。</p>
委 員	<p>いくつか質問があります。つどいの場の活動支援について、子供のつどいの場を作り、強化しながら行っているとのことでしたが、時期や回数、場所、実施内容などを具体的に教えていただきたいです。</p> <p>重層的支援体制整備事業で、支援会議や重層的支援会議の有無、開催されていれば回数などを教えてください。また、研修会について、講師とケース事例も教えてください。</p> <p>福祉会館で福祉なんでも相談会を開催されていますが、相談内容に関係して福祉会館から重層的支援体制整備事業における連携はあったのでしょうか。</p>
委 員	<p>これまでは主に乳幼児期の子育て支援を行っていましたが、子ども食堂や子供の居場所づくりも始めて、2年目を迎えました。子育て支援は切れ目のない支援と言われており、小・中学生の次は若者になりますので、日進市の若者支援の進捗がどのような状況かと思いながら今日の報告を聞いていました。</p> <p>また、我々の団体は居住支援法人になっており、令和元年から細々と始めていますが、本年10月に住宅セーフティネット法の改正があり、身寄りのない高齢者が増えてきて入所とか死亡されたときの支援を行うために居住サポート住宅を進めていくことが示されました。法人では分からないことですので、今後どのように考えていくのか、どうなっていくのかというのは気にしています。</p> <p>また、進捗管理の説明を聞いて思ったことは、日進市は地域の住民がきめ細やかに地域での活動を進めていて、それは日進市の特徴で素晴らしいなと思って感動していますが、一方で継続が至難の技だとも思っています。</p>
委 員	<p>重層について、地域活動支援センター事業が2か所登録されていますので事業所を教えてください。また、機能強化に登録事業所は該当しますでしょうか。</p>

発 言 者	内 容
	<p>福祉会館でのなんでも相談会や相談支援包括化推進員の配置に伴って、実際に寄せられている相談内容等を教えてください。</p> <p>就労の段階ではない方が相談員から紹介される就労継続支援B型事業所に来ることが実際に多くあります。生活リズムが作れない、症状のこともまだ受け入れ難い状態の方が就労相談に来るような現状が、最近は出ています。当事業所の利用者でも地域活動支援センターがあれば、そこで生活全般の体力作り、生活作りが支援できるのではないかと考えるケースが本当に増えています。</p> <p>また、事業所のメンバーが今夏病気で亡くなりましたが、高齢になったときの相談や困り事にどこまで対応できるのか、支援者としてだれとつながっていくべきか、すごく考えさせられたケースでした。相談者だけでなく支援者に対しても相談先や支援先が分かるようになるので一番良いのかなと思います。</p> <p>居場所づくりが報告で複数ありましたが、我々も地域コミュニティづくりをしていくことを新たな方針の一つとしており、春には「さくらまつり」を初めて開催しましたが、まつりののぼり旗を見て、子供たちが楽しみにしてくれました。しかし、準備した内容で子供の楽しめるものがなかったため、来年度は子供から高齢の方、障害のある方も含めて参加できるイベントにするのが次の課題です。皆さんの御意見も聞きながら考えていきたいと思っています。</p>
委 員	<p>質問ですが、計画の施策に対して年度の終わりや期間の終了時点でのモニタリングによるフィードバック評価はありますか。</p> <p>プライムツリー赤池での場づくりですが、私も行ったことがあります。大事な取組だと思います。また体操教室を行うと思いますが、知ってもらえる機会を考えていく必要があると思います。</p> <p>最後に、まちの守り人養成講座について、高齢者施設の運営している立場からすると、20年前と比べると一人暮らしの高齢者が多くなっており、徘徊をする人が多くなってきています。警察と事業所で徘徊者が出た場合は共有し合うシステムがありますが、登下校している子供たちにも、意識を持ってもらえると早期発見につながるのではないかと思います。認知症の方と会う機会を設けてみるなど、講座でやってみるのも良いのかなと思いました。</p>
委 員	<p>スクールソーシャルワーカーを務めるとともに、学校支援室の相談支援包括化推進委員を兼務しています。</p> <p>スクールソーシャルワーカーは、学校で子供や保護者、教員の相談を受けていく仕事ですが、家族の形、子供の様子も変わってきている印象を持っています。個別支援を必要とする子と保護者が多くなっていると思います。学校での支援では、様々なアイデアを出しながら子供をまずアセスメントして、理解をして、教員と共有をしていきます。ただし、</p>

発 言 者	内 容
	<p>子供は成長していく力があり、好転していく事例が多くある中で、保護者に対しても支援をしないと根本的な解決につながりません。重層的支援体制があることで、学校で対応に困っていたケースに対してもつながることができるようにすることを目標に頑張っています。</p> <p>子供の声を拾えないかということで、昨年度から子供たちの学習用のタブレットにアイコンを作って、なやみSOSという名称で相談を受けています。昨年10月に始めた取組ですが、200件程度アクセスがありました。相談につながるために複数の選択肢を設けて工夫を行っています。</p> <p>現場の相談を受けているスクールソーシャルワーカーが他機関や多職種との理解を進めていく必要もあるので、研修活動にも力を入れています。また、スクールロイヤーへのつなぎ方や子供の権利擁護委員との連携方法も試行錯誤しています。</p> <p>教育委員会だと小・中学校を通じた支援になるため、中学校卒業以降のことも大変気になります。こうした場につながることによって、小学校、中学校で受け取ったSOSを先につないでいくことができると思っています。</p>
委 員	<p>コーディネーターや様々な機関をつなぐ人の重要性が出てきていて、そうした人材をいかに発掘するか、育てるかという面での難しさがあると感じました。大学のプロジェクトで関わっている名古屋市と同様の課題を抱えていると感じました。</p> <p>アプローチ方法は、狙って育てるのは難しいと思うので、まちの守り人養成講座のような広く多くの人に福祉活動に関わってもらう機会を設けていくことが大事だと思いました。</p> <p>名古屋市北区では、「きづき・つなぐプロジェクト」という、支援を必要とする人を見つけて相談機関につなげてもらう取組を地区の企業などに協力をお願いしています。60件以上の登録があり、登録者にはステッカーを配布して掲示をお願いしています。協力者が多い一方で、支援を必要とする人が分かりづらいので、養成講座のような勉強会をやろうとなっています。</p> <p>それから、人材発掘の上では場づくりが大事かなと思います。様々な人と出会う場が先々の人材につながっていくと思いますので、場づくりにおいては、本学も日進市内にある大学ですので、場の一つとして御検討ください。大きな桜もありますので、大学に来ていただくことを御検討いただければ、本学としても協力できることをしていきたいと思っています。来年度は150周年を迎える中で、一つの宣言として、地域との共生を掲げておりますので、遠慮なく言っていただきたいと思います。</p>
委 員 長	私からは2点あります。

発 言 者	内 容
	<p>まず、小学生の保護者から、学校で子供が発熱した場合に学校からは早く迎えに来るよう連絡が入るが、父母共に遠方で働いている、祖父母等の他の家族で対応できる者もないため、すぐに迎えに行くことが難しい状況が発生してしまうという話を聞きました。市内で活動している子育て支援団体に問い合わせてみましたが、病児預かりは行っておらず、学校で保護者が迎えに来るまで数時間待機させてもらうのも難しいということで、答えがでない課題でした。この件で対応可能なサービスなどがあれば教えてください。</p> <p>スクールソーシャルワーカーとコミュニティソーシャルワーカーが連携を図っているという話がありましたが、国の方針として精神障害にも対応した地域包括ケアシステムも示されていますので、精神保健福祉士（P S W）との連携も必要ではないかと思えます。また、P S Wに限らずS Wが付くソーシャルワーカー同士の連携は必要になっていくと思えます。</p>
委 員 長	<p>それでは、質問がありましたので事務局から回答をお願いします。</p>
事 務 局 ( 市 )	<p>アウトリーチについて、必要な支援が届いていない地域住民や支援につながることに拒否的な地域住民に対し、状況を把握し、信頼関係を構築しながら必要な支援を届けることとしています。</p> <p>支援会議及び重層的支援会議について、重層的支援会議の開催はありませんでしたが、支援会議は2回の開催実績がありました。会議には、相談支援包括化推進員のほか、関係職員が出席して開催しております。</p> <p>庁内関係部署等に向けて開催した研修の内容について、相談支援包括化推進員から業務や重層で想定されるケースの説明がありました。</p> <p>2か所ある地域活動支援センターでは、基礎的事業を行っていますが、重層的支援体制整備事業における機能強化は未実施です。</p>
事 務 局 ( 社 協 )	<p>アウトリーチについて補足説明ですが、相談機関で相談を待ち受けるのではなく、相談員が自宅訪問を行うなど外に出向くことで早期の相談につなげていくことをアウトリーチと呼んでいます。</p> <p>子供の居場所づくりの支援を開始以降、毎年1から3か所程度で子ども食堂を開設したいという希望を聞いています。N P O法人やボランティアグループからの問合せだけでなく、喫茶店から店休日や準備時間中などに子ども食堂を開設できないかという相談がありました。また、フードドライブやフードパントリーに関する相談も増えてきている状況にあります。</p> <p>福祉会館の福祉なんでも相談会について、各福祉会館を2か月に一度回っています。相談実績は少ない状況です。相談内容は、離れて暮らす親のことや転職、子育て、終活などについて相談がありました。</p> <p>まちの守り人養成講座では、支援を必要とする人を見つけて専門職</p>

発 言 者	内 容
	<p>につないでくれる人を増やす取組です。一方で、一人暮らしが増えていく中で本人にも支援先を知ってもらう必要性を感じており、終活をテーマにした講座を開催予定です。</p> <p>コミュニティソーシャルワーカーが他のソーシャルワーカーと連携を図ることについて、重層的支援体制整備事業からのつながりでスクールソーシャルワーカーの会議に参加しています。その際に、以前引きこもりだった当事者と保護者の方につないでもらいました。その方たちがボランティアグループを結成して、引きこもりの方の居場所づくりを始めており、ソーシャルワーカーとの連携から生じた実績の一つと考えています。</p>
事 務 局 ( 市 )	<p>計画の施策に対して年度の終わりや期間の終了時点でのモニタリングによるフィードバック評価はあるかという点について、基本的には当該年度で取り組むべき事業を示して、年度末を基準に総括を行って翌年度に生かしていく形で進捗管理を考えています。</p> <p>学校からの病児の引き取りの件については、関係部署等に内容を確認していきたいと思います。</p>
委 員 長	<p>ほかに全体的なことで質問はよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>福祉実践教室について、小学4年生と中学1年生の1回しかないと思いますが、継続的に毎年実施することはできないでしょうか。講座の項目も減っているように感じていますが、いかがでしょうか。</p>
事 務 局 ( 社 協 )	<p>福祉実践教室の実施の時期や回数については、学校の任意となります。総合学習の実施時期や他行事との兼ね合いで特定の学年に集中するケースが多いのではないかと思います。また、講座の項目については、以前から実施可能な講師を示して学校に選択してもらっており、大きな変化はありません。</p>
事 務 局 ( 市 )	<p>居住支援法人について、法改正により法人に求められる役割が大きくなったと認識していますが、性急に事業を進めていくのではなく、情報共有を行いながら、検討を進めていきたいと考えています。</p>
委 員	<p>病児預かりについて、全国での事例になりますが、ファミリーサポートセンター事業の中で預かった病児が亡くなったことがありました。その事例からしても、援助会員に対して負わせる責任の大きさから、日進市のファミリーサポートセンター事業では病児の預かりは行っていません。病児預かりをしている団体もありますが、その内容に特化させた研修をしっかりと行っていますが、日進市ではそこまでできる状況ではありません。</p>
委 員 長	<p>病児の対応は非常にハードルが高いということが分かりました。</p>
事 務 局 ( 市 )	<p>精神保健福祉士（PSW）との連携について、今年度から地域福祉課に相談支援包括化推進員としてPSWの有資格者が配置されましたの</p>

発 言 者	内 容
	で、コミュニティソーシャルワーカーとも連携を図りながら業務を進めていきたいと思えます。
委 員 長	他に質問や意見はよろしいでしょうか。 それでは、次第3「報告」に入ります。事務局から説明をお願いします。
事 務 局 ( 市 )	(資料3による説明)
委 員 長	ありがとうございます。 以上で本日の議事はすべて終了しましたので、進行を事務局に返します。
事 務 局 ( 市 )	次回の会議日程について、詳細が決まりましたら案内いたします。 本日はありがとうございました。
	閉会